

地質ニュース

昭和45年9月

第193号

1970

解説	水銀と公害	加藤 甲 壬	1
トピックス	地下水調査における RIトレーサーの直接測定について	小 鯛 桂 一	8
	海底鉱物資源専門部会 —UJNR・MEC・MMPの開催	福岡中嶋 俊武純吉 厚雄輔彦	10
	佐賀平野の地質と佐賀市の地盤沈下	福 田 理 二 砥 川 隆	14
講座	顕微鏡下の岩石 ⑩ 溶結凝灰岩(その3)	小 野 晃 司 正 井 義 郎 佐 藤 芳 治	32
	月の地質学 ⑨	小 森 長 生	38
	高温・高圧のはなし ①	針 谷 宥	46
海外事情	メコン河下流流域の鉱産資源①	沢 田 秀 穂	54
	38名の調査団団長として	蔵 田 延 男	56
	学会掲示板		13
	地学と切手	P. Q.	45

編集 地質調査所

表紙の写真

水晶の日本式双晶 Quartz crystals twinned after Japan Law

〔長崎県奈留島産 桜井標本および地質調査所標本〕×1.5

1月号の表紙にカラーで紹介した山梨県乙女鉱山産の水晶の日本式双晶の標本を記憶しておられる方も多いであろう。乙女鉱山の標本は花崗岩中に発達するペグマタイトないし気成鉱脈中に産したもので、結晶も大形であり、単結晶：双晶の比率も双晶の方がはるかに低い。今回紹介する日本式双晶の水晶は、長崎県奈留島の第三紀砂岩層中に発達する細脈ないし網脈状の石英脈中に発達するもので、結晶の大きさは乙女鉱山のものに比べてはるかに小さい。しかし、双晶境界面における凹入角効果は一層いちじるしくさいているため、写真にみられるようにまるで蝶のような外形を示している。写真には凹入角効果の種々の段階の標本が示されている。また、双晶の出現率も乙女鉱山の場合よりもはるかに高い。日本式双晶の一つの代表的なタイプの標本といえよう。この標本は今でも採集可能である。

(文 砂川一郎 写真 正井義郎)

発行 株式会社 実業公報社